

令和4年度実績について

(1) 施策の柱に沿った取組みの実績評価について

成田市文化芸術推進基本計画を総合的かつ効果的に推進するため、4つの施策の柱を設定し、その柱ごとの取組み（全87）について現在、進行管理を行っています。

また、各取組みの進捗状況を確認するため、本計画の推進と実効性を確保するために定めた「計画最終年度（R5）の目標値」に対する達成見込みを、年度ごとに評価することとしています。

令和4年度の実績からみた、各取組みにおける「計画最終年度の目標値」に対する達成見込み【「表1」各取組みにおける「計画最終年度の目標値」に対する達成見込み参照】は、評価対象となっている71の取組みのうちS評価（十分達成できる）となった取組みが2で評価対象取組み数の2.8%、A評価（達成できる見込み）となった取組みが15で21.1%、B評価（達成できるかわからない）となった取組みが19で26.8%、C評価（達成できる見込みが低い）となった取組みも18で25.4%、D評価（達成が見込めない）となった取組みが4で5.6%、E評価（その他〔事業終了、事業を予定どおり実施しなかったなど〕）となった取組みが13と全体の18.3%という結果でした。

昨年同様、取組みの中で、その性格が目標設定にそぐわない16の取組みについては「目標値」を設定せず、実績により取組みの状況把握を行うこととしています。

① S評価となった取組みについて

S評価となった取組みは、昨年度からS評価を維持している「成田市統計グラフコンクール」に加え、サイト内で検索を行い易いレイアウトに変更するなどの工夫によりアクセス数を伸ばした「まなび&ボランティアサイト」の2つとなり、S評価となった取組みは増加しています。

② A評価となった取組みについて

A評価となったのは、15の取組みでした。前年同様に情報発信に関する取組み等の新型コロナウイルス感染症の影響を受けにくい取組みで、多くの取組みが引き続き目標を達成できる見込みと評価されています。

③ B評価となった取組みについて

B評価となった取組みは19ありました。B評価となっている取組みも、前年同様に、貸館や施設の維持管理など実績値は伸びている取組みはありますが、評価はBと変化はありません。

④ C評価となった取組みについて

C評価となった取組みは18あり、公民館で開催されるイベントや講座の企画やコンテスト形式の事業を除くと、主に施設の維持管理や貸館です。施

設の入場制限などが少しずつ緩和され実績値はわずかに上昇傾向にあります
が、評価を変えるほどの変化はなく、目標達成の見込みが低い状況にありま
す。

⑤ D 評価となった取組みについて

D 評価となった取組みは 4 つありました。そのうち「市民文化祭」、「文化
芸術振興事業（ふれあいコンサート）」は、新型コロナウイルス感染症対策を
施しながら事業を実施しているものの、出演者や参加者が感染症に感染する
リスクを考慮して参加を控えるなどの理由から、目標を達成することが見込
めない状況にあります。

⑥ E 評価となった取組みについて

E 評価となった 13 の取組みのうち、施設の改修工事により実施回数が大
幅に減少した「国際文化会館管理運営事業（イベントの企画）」を除き、「公
民館講座教室等開催事業」など、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、
事業が中止となったものでした。

E 評価の取組みが 48 あった令和 2 年度と比較し、令和 4 年度では 13 に
減少しました。新型コロナウイルス感染症の影響が限定的になりつつあり、
目標達成の見込みについて見通しが立っている取組みが増えています。

(2) 本計画の達成状況について

本計画では、施策の進捗や達成状況を確認するため、3つの成果目標を設定し
ています。計画の最終年度である令和 5 年度の目標値は、本計画策定前の平成
29 年度に実施した「インターネットによる市政モニターへの文化芸術に関する
アンケート調査」を基に設定しています。そのため、毎年度同アンケートを実施
し、各取組みの実施が市民の文化芸術に対する意識や活動等へ、どのように成果
となって現れるのかを確認しています。

「〈表〉3つの成果目標の現状値（成田市インターネット市政モニター 文化芸
術に関するアンケート調査結果による）」は、令和 4 年度の結果についてまとめ
たものです。

【〈表〉3つの成果目標の現状値（成田市インターネット市政モニター 文化芸術に関するアン
ケート調査結果による）】

目標項目	策定前 平成29年	参考値 令和元年	参考値 令和2年	参考値 令和3年	現状値 令和4年	目標値 令和5年
年1回以上、市内で文化芸術鑑賞を 行った市民の割合	63.1%	53.1%	39.4%	42.8%	38.2%	72.0%以上
文化芸術活動を行った市民の割合	53.9%	41.3%	20.8%	22.0%	31.8%	60.0%以上
本市は「文化芸術活動が盛んなまち」 だと思う市民の割合	58.0%	53.0%	45.0%	47.6%	50.6%	65.0%以上

令和 4 年度の現状値につきましては、3 年度と比較し、「年 1 回以上、市内で
文化芸術鑑賞を行った市民の割合」を除き、令和 2 年、令和 3 年の値を上回り、

上昇していますが、計画策定時の水準までは回復していません。

「年1回以上、市内で文化芸術鑑賞を行った市民の割合」は調査以来過去最低の数値となっています。

また、「文化芸術活動を行った市民の割合」や「本市は『文化芸術活動が盛んなまち』だと思う市民の割合」は令和2年や3年を上回り、上昇していますが、計画策定時の水準までは回復していません。

目標項目：文化芸術鑑賞を行った市民の割合について

文化芸術鑑賞を行った市民の割合については、38.2%と令和3年度(42.8%)から4.6ポイント減少しています。

また、アンケートにおいては、令和3年度調査時から「映画」が6.8ポイント減少しています。その他には「美術」、「歴史的な建物や遺跡(建造物、遺跡、名勝地等)」等のコロナ禍においても堅調であったジャンルが減少しています。

今回の調査時点では、新型コロナウイルス感染症の影響が限定的になり、市民が触れる文化芸術に変化があることがわかります。

目標項目：文化芸術活動を行った市民の割合について

文化芸術活動を行った市民の割合については31.8%と令和3年度(22.0%)から増加しました。

活動を行った市民の割合は、ほとんどの分野において増加している中で、「地域の芸能や祭りへの参加」が8.5ポイント増と大幅に上昇しています。また、令和元年度から減少し続けていた「文化的行事(市民文化祭・音楽祭・演劇祭・映画祭など)への参加」が昨年と比較し、2.4ポイント上昇しています。

新型コロナウイルス感染症の影響が限定的になり、徐々に活動機会が増えたことにより、文化芸術活動が再開していることがわかります。

目標項目：本市は「文化芸術活動が盛んなまちだ」と思う市民の割合について

本市は「文化芸術活動が盛んなまちだ」と思う市民の割合については、50.6%と令和3年度(47.6%)から3.0ポイント増加し、50%を超えています。

これは、感染症収束の見通しが見えたことにより市民が文化芸術に触れることができる機会が増えたことが要因と考えられます。